

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

400号

2024年7月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合  
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

## 軍靴の音が聞こえる

### ●「南西シフト」は何のため

『北朝鮮(※正しくは朝鮮。以下同じ)からミサイルが発射されました』の声とともに鳴り響く「アラート」だ。だが、島民たちにとって「北朝鮮ミサイル」の心配より、自衛隊駐屯地新設を足場に、なし崩し的に進む島の軍事化への不安と憤りの方がはるかに大きい。宮古、石垣、与那国各島ではミサイル基地、弾薬庫、訓練場などのため土地が奪われ、島民生活の疲弊が進む。そして、闘う島民の苦悩と意気が映し出される(三上智恵監督映画「戦雲」を見て)。「中国の海洋進出に備えた防衛網」を名目に計画された「南西シフト」。沖縄本島をほぼ中心に、南西端の与那国島に至るその長さは約1200キロ。自衛隊の駐屯地は7島、10箇所に及ぶ。駐屯地のない徳之島でも昨秋、民間空港での戦闘機発着訓練等の軍事演習が行われた。さらに、米軍と共用の基地として建設が強行されている馬毛島も含めた「防衛網」と言うが、10年以上にわたって進められて来た島々の軍事化は防衛網どころか、むしろ地域の緊張を高める要因となっている。

南西シフト～九州西岸の基地～済州カンジョンの軍港を地図で結ぶと弓の形のように…『米国主導の新たな東アジア軍事シフト?!』…私の妄想なら良いが、どうやらそうではないようだ。

### ●飛躍的に進む韓米日同盟

昨年250日以上に及んだ韓米合同軍事演習に、昨秋から新たに日本自衛隊も加わった。つい先日6月27～29日には韓米日合同軍事演習「フリーダム・エッジ」が、最新の現代戦を想定して済州島南沖を舞台に行われた。そうした軍事同盟を進めるためのシナリオが、4月の米日首脳会談で確認された。米軍と自衛隊間の指揮統制の「シームレスな(継ぎ目のない)統合」を実現させると言う。米国によると、こうした統合のための主要な条件は、「日本に米軍の統合作戦司令部を設置すること」にある。すでに米軍の指揮統制化にある韓国では、尹錫悦政権が対日関係「正常化」強

行突破の道をひた走り、日本が米軍による指揮統制を合法化(明文化)できれば、この体制ができる。「有事」の際、日本の首根っこを抑え、戦火を避けた所から戦争を指揮するということか。

朝鮮戦争(1950～53)を思い出した。…当時「国連軍」の冠をかぶった米軍司令官は、東京・横田基地から戦闘司令を出し、交戦長期化の様相を見せると沖縄・嘉手納空軍基地に原爆を配備した。…今や、日本も無傷では到底あるまい。当然、軍事基地は反撃の対象になる。自ら状況を作り出しておいて『反撃する北朝鮮が悪い』では済まない(朝鮮半島の民衆が最も酷い被害を受ける)。もっと沢山の日本人に気づいてほしい。

### ●戦争の仕組みが完成される前に

今、世界が軍拡と戦争準備の誘惑に駆られている。近年、世界の軍事支出は増える一方だ。背景には、米国の一極支配が崩れて多極化が進み、勢力関係が流動化する中、自国の優位性を軍事力に求める国々の存在がある。その中で最も強く「自国の優位性」を追求しているのも米国である。米国は、世界の軍事支出の40%を占める一方、兵器輸出も40%と突出している。戦火のウクライナでの民衆の苦しみを知りつつ、その周辺国に兵器を売って儲けている。そして、韓国はそれに続けと、近年兵器輸出額はうなぎ登り。日本も兵器輸出解禁へと舵を切った。「死の商人」という古びた表現が再び闊歩しそうだ。

世界の軍拡が構造化すればするほど、方向転換は一層困難になる。現時点でも方向転換は相当困難だ。だが、そのきっかけは作り得る。

祖国南北の関係は、今、険悪を極めているが、そんな今、陸続きの同族との関係を自主的平和的に解決していこうと、再び動き出している南の民衆たちがいる。彼らと有効に連帯し得る運動の地平を育てることこそが必要だ。そして、そうすることによって、細くともよどみなく流れる平和への水路は見つけることができる。(範)

## 朝鮮半島、東アジアの平和を脅かす 韓米日軍事同盟強化に反対しよう！

### 第2回鶴橋アクション

6月27日から朝鮮半島近海で韓米日合同軍事演習「フリーダム・エッジ」が実施される中、韓青大阪本部と韓統連大阪本部の共催で、韓米日軍事同盟強化反対を訴える「第2回鶴橋アクション(街頭宣伝活動)」が6月29日(土)、JR鶴橋駅前で行われた。



#### ▲ハンドマイクでアピールを行う金昌範代表委員

鶴橋アクションでは、参加者が「韓米日軍事同盟強化反対」などと書いたプラカードを持ち道行く人々にアピールするとともに、輪番でハンドマイクを通じて韓米日軍事同盟強化によって朝鮮半島をはじめ東アジアの平和が脅かされていること、最近では沖縄・南西諸島の基地強化が進められており、住民たちから反対の声が上がっていることなどが語られ「軍事演習、基地の強化では平和は実現できない」と訴えた。

次回「第3回鶴橋アクション」は、朝鮮戦争停戦協定締結71周年を迎える7月27日(土)に実施される。

## 「数字の社会」の著者

### イム・イジン氏を招き講演会を開催！

#### イム・イジン氏招請講演会

2023年に韓国でベストセラーとなった著書「数字の社会」の著者であるイム・イジン氏を招き「イム・イジン氏招請講演会(主催:招請委員会)」が6月9日(日)、PLP会館(大阪市北区)で開かれた。

講演会では、李哲(イ・ Chol) 在日韓国良心囚同友

会代表が主催者挨拶を通じ「数字の社会は、韓国の社会矛盾を指摘した話題の著書です。今日は講演を通じて問題の本質と解決方法について共有しましょう」と語った。

次に、イム・イジン氏が「韓国社会 数字追求の裏の欲望」をテーマに講演を行った。

イム氏は講演を通じて現在の韓国社会を「お金を追い求めている韓国社会」と表現し、「多くの人々が何もしないと敗北者になるという強迫観念から、すべての手段を動員して高騰するマンションを購入するなど資産増大欲望にかられている」と指摘した。



#### ▲講演を行うイム・イジン氏

続いて「韓国人は中間層意識が強く、社会の普遍的基準に合っていて、他人から見て恥ずかしくない中間層になろう考え、その結果、終わりのない競争が起こり、満足と多様性が不在になる」と述べながら「違いに対して寛容であり、社会が求める成功でなくても、自分らしい生き方ができる社会を作っていかななくてはいけない」と主張した。

講演後は活発な質疑応答が行われ、最後に金昌範(キム・チャンボム) 韓統連大阪本部代表委員が閉会挨拶を行った。

## 中北龍太郎さんの遺志を継承して、 軍拡・戦争に反対し、平和憲法を守ろう！

### 中北龍太郎さんを偲ぶ会

長きにわたり人権弁護士として活動する一方、反戦平和運動など幅広い活動をしてこられ、昨年12月に亡くなられた中北龍太郎さんを偲び、「中北龍太郎さんを偲ぶ会」が6月15日(土)、PLP会館(大阪市北区)で開かれた。

偲ぶ会では、関西共同行動の古橋雅夫さんが主催者挨拶を通じ「中北さんは憲法9条を守る活動などを積極的に行い、その功績はとても大きい。今日は中北さんを偲ぶとともに故人の遺志を継承する決意の場にしましょう」と語った。

次に参加者全員で黙とう、献杯が行われた後、中北氏を偲ぶ映像資料が上映された。



▲スピーチを行う崔誠一事務局長

続いて、呼びかけ人をはじめ各界各層代表から追悼スピーチが行われ、韓統連大阪本部を代表して崔誠一(チェ・ソニル)事務局長がスピーチを行った。崔事務局長は「中北先生は朝鮮半島の情勢にも関心を持ち、韓国でのキャンドル革命の時は“韓国の運動はダイナミックですね”と語っていました」と述べ、「中北先生が取り組まれた東アジアの平和実現のための運動を今後も取り組んでいきます」と語った。

その後、遺族からの挨拶が行われ、最後にとめよう改憲！おおさかネットワークの松岡幹雄さんが閉会挨拶を行った。

## 差別・排外主義に反対して

### 新たな戦争を阻止しよう！

#### 朝鮮戦争74年反対集会

「朝鮮戦争74年反戦集会 新たな朝鮮戦争を阻止のため、差別・排外主義を問う(主催:参戦と天皇制に反対する連続行動)」が6月30日(日)、国労会館(大阪市北区)で開かれた。

集会では、藤岡正雄さんが主催者挨拶を行った後、日本の戦後責任を清算するため行動する北海道の会共同代表の林炳澤(ム・ピョンテク)さんが講演

を行った。



▲反排外主義運動などの重要性について語る林炳澤氏

林さんは最初に「私と朝鮮戦争」と題して、幼年期の体験を経て朝鮮戦争・戦史を涉猟(しょうりょう。調査・研究などのために、多くの書物や文書を読みあさること)し、執筆活動を行ったと述べながら「朝鮮戦争時に大村収容所が開設され、朝鮮人の退去強制などが行われる中、これらに抵抗する形で取り組まれた在日朝鮮人の闘いは反差別・生存権闘争であった」と語った。

続いて「第2次大戦後の在日朝鮮人への差別政策を考える」というテーマでは、「戦後の選挙法の改正、外登令の制定・施行などに見られるように戦後日本は在日朝鮮人の管理から始まり、日本の独立後は在日朝鮮人の制度的差別が確立された」と指摘。「現在も日本の戦後責任は未精算のまま、差別政策は温存されている」と語るとともに、現在のヘイトスピーチの台頭については「潜在的な意識的差別の噴出=戦争を引き起こす基盤になりうる」とし、「継続した反差別・反排外主義運動が大切だ」と訴えた。



## 韓国615市民合唱団15周年記念演奏会 参加感想文

森本忠紀

6月22日、韓国615市民合唱団15周年記念定期演奏会に参加するためソウルに行ってきました。

スマホに電話が掛かってきた。山里節子さんからだ。ここは石垣島民宿楽天屋。朝5時に起きて朝飯前に犬に餌をやり、自分用には焼肉弁当を作る。旅行好きで、出かけるとなれば。いつも心ワクワクしながら、しょっちゅう忘れ物をするので心配が多い私だが、気に入ったお弁当ができれば「これでよし」と元気な旅の予感に導かれる。

関西空港から石垣空港へ着くと海の青さと空の青さ。目が覚めんばかりの青さがいっぱい八重山が私を迎えてくれた。本島には何度も来ているが、八重山は初めてだ。

今回の旅の目的は山里節子さんたち「命と暮らしを守るおばあたちの会」のスタンディングに参加することだ。毎週日曜日、どこかの場所でスタンディングをやっていることと、山里さんの電話番号を教わっていた。

早速電話したがつながらない。用心のため場所と時間を把握しようと思い、新聞社に問い合わせたところ、スタンディングの時間と場所が分かった。「これで明日は大丈夫」と安心していたところに山里さんから電話がかかってきた。スタンディングへの参加をお願いして承諾して頂き、嬉しくて胸が熱くなった。

入れ代わるように、韓統連大阪本部の崔事務局長の顔が浮かんできた。先週の土曜日、韓国615市民合唱団結成15周年定期演奏会に招待され喜んで参加した。その感想文を「自主」に書くよう要請されていたのだった。615市民合唱団演奏会参加感想文が、何で石垣島から始まるの？

実は大阪に帰るまでに少しでも稿を進めておこうと空き時間に文を書きかけると、いる場所は石垣島。頭の中も石垣島。で、石垣島を取っ払っていきなり615市民合唱団の話に切り替わらない。

これは極めて現実的な事情だ。しかし、この度韓国、沖縄と立て続けに旅をして、私は韓国、沖縄と繋がって生きようとするので、そこからいかに豊かな恵みを賜っていることかと喜びをもって知った。そうでなければ私なんて、天空をさすらう雲みたいに、まことに頼りないことこのうえない。

「615市民合唱団は私の憧れです」。

今回、615市民合唱団15周年を祝賀する動画メッセージが10名以上から寄せられ会場で上映された。私はそのうちの一人として紹介されて光栄に浴したが、メッセージ冒頭の言葉がこれだった。

初めての出会いは今から十年余り前のことだった。ところはソウルの大学路の大きな自動車道の片側に座り込んでの路上集会だった。横をビュンビュン走るトラックや乗用車の窓からこちらを一瞬見る。決して迷惑だと怒っているのではなく、「勝手にやってろ」と無視

してるのでもない。大阪の御堂筋の人だかりを我々がデモ行進するときの人々の冷たい視線、何も見てない眼差しと何たる違いだと思った。そんな集会の舞台に登場した615市民合唱団。清らかなその姿と歌声。歌うのは民衆・労働者の歌。平和と統一を歌う。

「ああ、こんな合唱団があるのだ！」。

素晴らしい数々の歌を心ゆくまで聞かせてくださった。後の交流会の明るく大きな笑顔と心からの懇親。何の功績もない私のような人間に対して、なぜこれほどにと思うほど大歓迎をして頂いた。

今回気づいたことがある。いくらきれいな歌声で歌っても、もしかして歌う自分たちのことを善人とは思っていないのではないか。615市民合唱団の魅力はそこにある。「神は善人にも悪人にも平等に光を降り注ぎ、雨を降り注ぐ」聖書の一節が思い浮かんだ。



▲615市民合唱団の団員と握手を交わす森本さん

## 【翻訳資料①】

## チェ上等兵特別検察法案の要点

現在、韓国では野党の提出したいいくつかの特別検察法案が尹政権を大きく揺るがしています。その中でも注目されているのが「殉職海兵隊員の捜査妨害及び事件隠蔽などの真相究明のための特別検事の任命などに関する法律案(チェ上等兵特別検察法)」です。日本では特別検察制度がありません。今回、常設の「特別検事の任命などに関する法律(特検法)」を土台に、チェ上等兵特別検察法の野党案をあわせて要点を紹介します。

## &lt;目的(第1条)&gt;

犯罪捜査と公訴提起において、特定事件に限定して独立的な地位を持つ特別検事の任命と職務などについて必要な事項を定める。

## &lt;捜査対象(第2条)&gt;

特検の捜査対象は①国会本会議の議決、または②法務部長官の判断によって捜査が必要とされた事件になる。

野党案では、チェ上等兵死亡事件、大統領室などの隠蔽、黙認、懐柔、事件捜査などの職務放棄、職権濫用、高級公務員犯罪捜査処に対する外部圧力、李鐘燮(イ・ジョンソク)オーストラリア大使の任命・辞任をめぐる不法行為、これらの事件捜査過程における妨害行為などが捜査対象に挙げられている。

## &lt;特別検事の任命手続き(第3・4条)&gt;

特別検事候補推薦委員会によって特別検事候補が2名推薦され、大統領は推薦から3日以内に候補の中から特別検事1名を任命する。

特別検事候補推薦委員会は7名の委員で構成され、法務部次官、法院行政処次長、大韓弁護士協会会長、国会が推薦した学識経験者4名からなる。

野党案では推薦委員会に代わり、共に民主党が1名、他の野党6党が1名、計2名の特別検事候補を推薦することになっている。さらに大統領が3日以内に特別検事を任命しない場合、候補の内、年長者が任命されたものとみなすとしている。

## &lt;特別検事の職務権限(第7条)&gt;

特別検事の職務権限は担当事件に関する捜査と公訴提起の可否・公訴維持を持ち、あわせて特別

検事補、特別捜査官・関係機関から派遣された公務員の指揮監督権を有している。野党案では、さらに担当事件に関連する公訴の取消権限も付与している。

特別検事は職務に必要な場合、大検察庁・警察庁など関係機関に所属公務員の派遣を要請することができる。

## &lt;捜査期間および裁判期間(第10・11条)&gt;

特別検事は任命された日から20日間を準備期間とし、準備を満了した翌日から60日以内(野党案では70日以内)に捜査を完了し、公訴の可否を決定する。期間内に捜査が完了できなかったり、公訴提起の可否を決定することが困難な場合、大統領の承認のもと、一度だけ捜査期間を30日延長できる。

公訴後の事件裁判は他の裁判に優先して迅速に行われ、第1審は6ヶ月以内(野党案では3ヶ月以内)、第2審・第3審は各3ヶ月以内(野党案では

2ヶ月以内)に行われる。

## &lt;事件の処理報告(第12条)&gt;

特別検事は、公訴提起をしない決定をした場合、公訴提起した場合、事件判決が確定した場合、それぞれ10日以内に大統領と国会に書面で報告する。野党案ではさらに対国民報告として特別検事、または特別検事から命を受けた特別検事補は、国民の知る権利を保障するため、被疑事実以外の捜査過程について言論ブリーフィングを実施することができるとしている。

## &lt;解任および身分保障(第15・16条)&gt;

大統領が特別検事を解任できるのは欠格事由、身体的・精神的疾患、職務上の秘密漏洩、営利業務や他の職務の兼務、法令義務規定違反である。

また特別検事は弾劾・禁錮以上の刑を宣告されない限り、罷免されない。

## &lt;異議申し立て(第20条)&gt;

捜査対象となった者、その配偶者、直系親族、同居者、弁護士は、特別検事の職務範囲逸脱に対してソウル高裁に異議申し立てできる。

資料元：韓国国家法令情報センター 他



▲チェ上等兵特検法即刻通過を訴える集会参加者

【翻訳資料②】

韓半島平和行動が出帆

過去3年間、朝鮮半島の平和キャンペーンを進めてきた市民社会団体と宗教界を中心に608の国内団体と80以上の国際パートナー団体が網羅された「韓半島平和行動」が25日、ソウル光化門世宗文化会館前で発足した。

「平和行動」はこの日の発足式を通じ、朝鮮半島の平和と武力衝突防止のためのあらゆる形態の平和行動を国内外で繰り広げると宣言した後、▲戦争危機を招くすべての軍事行動と敵対行為の中止、▲武力衝突予防のための対話チャンネルの再開、▲朝鮮戦争を終わらせ、平和協定締結、▲核兵器と核脅威のない朝鮮半島と世界の実現を主要要求とした「朝鮮半島平和行動計画」を発表した。

この実現のため▲定例的な平和行動、▲戦争危機解消と平和実現のための各界平和宣言、▲朝鮮半島危機解消のための第22代国会政策提案、▲武力衝突発生時の緊急行動などの実践計画も発表

された。

また、停戦協定締結日である7月27日には臨津閣で「7・27韓半島平和行動の日」を、韓米合同軍事演習が行われる8月には演習中止を促す平和行動を進めると明らかにした。

そして、政党・市民社会団体と連帯して朝鮮半島平和連席会議を推進し、与野党協議体として「朝鮮半島危機解消のための国会朝鮮半島平和特別委員会」構成を促し、対北批判ビラ散布禁止法の改正と朝鮮半島平和決議案の採択も提案する

計画だ。

発足式では、金ジョンセン韓国キリスト教教会協議会総務が「今必要なのはお互いの挑発行為ではなく、対話のために円卓を設け、平和のための実質的で実現可能な話を分かち合うことだ」と述べ、南北間の対話チャンネルの再開を促した。

(韓国インターネット新聞“統一ニュース”6/25付)



▲「韓半島平和行動」出帆を宣言する各界代表

◆◆行事案内◆◆

民族はひとつ、祖国はひとつ、同胞はひとつ

第29回統一マダン生野

日時：10月6日(日) 正午～/場所：いくのパーク(大阪市生野区)

内容：韓国民衆歌手グループ「ウリナラ」のメンバー ペク・チャ氏によるミニライブ  
ハンテプンによる民族楽器演奏・MND-korean dance groupによる朝鮮舞踊 他  
コリアンフードをはじめ多彩な出店。

主催：第29回統一マダン生野実行委員会 TEL06-6711-6377

※詳細な内容につきましては、8月号に案内ビラを同封します。お楽しみに！



編集後記

本格的な梅雨の季節になりました。今年の夏も酷暑の予報。夏バテ防止に参鶏湯でも食べますか？今は参鶏湯の元というスープだけの物もありまして、一度購入してみようかと思えます。(ソン)